

# 一般質問



小野上中学校 体育館

## 病院再編統合計画について

田辺 寛治 議員

**質問** 病院再編統合計画の発端から現在までの経過は。

**答弁** 渋川総合病院と医療圏としての課題を背景に、

西群馬病院の移転計画が発端となり、統合計画が協議され今日に至っています。

**質問** 地域審議会への報告と地権者説明会の内容は。

**答弁** 事業計画の概要を説

院統合の様々な課題を議論し、方針決定します。

**質問** 西群馬病院の現状、移転に伴う要望と基本計画

**答弁** 西群馬病院は、がんの専門病院として高く評価

され、利便性の高い場所への移転要望がありました。

両病院の機能を統合し、地域医療の充実を図ります。

**質問** 建設予定地選定に至った経過は。

**答弁** 市で候補地を紹介しましたが、西群馬病院が独自に候補地を選定しました。

**質問** 子持地区のコンニャク消費に関する環境問題、隣接するしらゆり聖苑と新

病院との共存について。

**答弁** 過去の市や県の調査では、問題はありませんでした。

隣接するしらゆり聖苑とは進入路も異なり、支障はないと考えています。

**質問** 市の負担、渋川総合病院の負担の処理等は。

**答弁** 市の負担額は、今後の調整です。渋川総合病院の借入金の返済は、有利な借換方法を検討します。

## 病院統合・ゴミ最終処分場・小野上中学校体育館

平方 嗣世 議員

### 病院統合計画

**質問** 総合病院の統合計画について、市の出資額の予定は。出資限度の上限は。

また、建設予定地は葬場、火葬場、車の排気ガス等、

患者、家族にとって環境が望ましくないのではと思われる。市は提言すべきと思う。

**答弁** 病院整備の財源となる国の交付金が8月下旬以降に決定し、県の支援も要請しており、これらを踏まえ市としての負担額を見極めたいと考えています。

病院建設予定地は、西群馬病院が立地条件等を総合的に検討し決めたものです。ご理解ください。

ゴミ最終処分場第2期建設は「断念」すべきでは

**質問** 平成22年2月21日地元協議会へ「前市長との約束は守る」と明言している

が、橋りょうについては予算切り計画もない、道路についても進捗していない。

約束を破るなら最終処分場建設も「断念」すべきだ。

**答弁** 小野上と祖母島を結ぶ吾妻川橋りょうは、平成19年度に実施した道路・橋

りょう整備基礎調査により、主要幹線道路のBグループ

として整備していきます。市道木の間藤田線は、条件の整った所から計画的に改良工事を進めています。耐震工事でまず安全を

**質問** 小野上中学校体育館は、まず生徒の安全確保の後に木造校舎を含めた建て替え工事を行うべきである。突然の工事中止は議会軽視

**答弁** 市内の学校で最も古い体育館であり、耐用年数等の経済性や計画性を考慮し、耐震補強から新たな整備へと変更しました。



病院建設予定地

## 渋川西バイパス

### 市民相談窓口設置について

飯塚 清志 議員

**質問** 渋川西バイパス・上信自動車道の市民相談窓口を庁内に設置を。

**回答** 今後の地元要望や関係者の相談事務量などの推移を見て、専門部署の設置の必要性があれば検討します。

**質問** 渋川総合病院と西群馬病院の統合について

**質問** 渋川市の負担額の拠出方法で、起債はこの事業

**質問** 病院統合に約130億円を要するが、渋川市の負担額は何十億円か。

**回答** 市の経費負担については、病院整備の財源となり国の交付金や県の支援等を踏まえ、西群馬病院と協議を行っていきます。

**質問** 渋川市の負担額の拠出方法で、起債はこの事業

**質問** 統合される新病院は

で何十億円起こせるのか。

**回答** 合併特例債や他の起債による方法を検討しますが、負担できる範囲の額を起債により対応することになります。

**質問** 渋川総合病院の企業

**回答** 債残高17億8000万円の繰り上げ償還年度と金額は、

**質問** 企業債の返済については、借換債等の活用を検討しています。統合予定の平成25年度末で約12億円が見込まれます。

**質問** 統合される新病院は

市民要望を満たせるか。

**回答** 新病院は、地域医療の一層の充実と急性期医療に対応した北毛地域の拠点病院として、市民要望に配慮されるよう検討します。

**質問** 西群馬病院は国の政策病院であり、一般診療・救急診療も行っていない。これらの機能を持った病院の計画と内容は。

**回答** 二つの病院の機能を統合、充実し北毛地域の拠点病院の役割を担えるよう西群馬病院と調整します。

**質問** 要に不可欠です。対応は。

**回答** 食の安全安心が消費者から囁望されており、環境に優しい農業の確立や産地間の差別化及び付加価値のある農業の創出を目指す。

**質問** 「渋川市選別農薬農法研究会」が設立され「安全・安心なおいしい農産物」を提供する取り組みが始まった。周知と政策支援は。

**回答** 農協・生産者協議会・減農薬栽培者等で組織され、組織を通じて周知されている。活動に必要な予算は必

**質問** 要に不可欠です。対応は。

**回答** 地元の農産物を活用した名物料理（B級ご当地グルメ）でまちおこしは。

**質問** 主に、女性起業家が開発研究を行い、イベントを通じてPRしている。

**地域福祉計画**

**質問** 高齢者の孤独死が増え、地域で支え合う共助社会の構築が課題。策定は。

**回答** 地域福祉を推進していく基本方針となる本計画を社会福祉協議会と協働し策定を進めていきます。



渋川西バイパス説明会風景



打撃を受ける農畜産業

## TPP交渉参加問題と本市の農業対策について

高橋 敬 議員

**質問** TPPへの参加が政府によって検討されているが、本市は農業をどのように位置づけているのか。

**回答** 日本が、協定に参加した場合、農畜産物は大きな打撃を受けるのは必至であり今後の状況を注視する。

**質問** TPP参加による本市の農業への影響と対策は。

**回答** 農畜産物に対する被害割合は、農業粗生産額の75%が影響を受け、経営基盤の強化が必要です。県・市独自の補助に取り組み農業振興に努めて行きます。

**質問** TPP参加により壊滅的な打撃を受ける農業。政府に対して再生産のできる所得補償制度の確立が必